猛暑は衣類にもダメージを与えています

◎強い紫外線は染料を退色させます

紫外線には強いエネルギーがあり、肌に日焼けやシミなどの影響を与えますが、衣類にもダメージを与えています。

紫外線は、染料の色を分解してしまいます。このため、夏物衣料のほとんどは、光の当たる部分と当たらない部分では、多少色味が違ってきます。

街頭に張られたポスターのほとんどが変退色しているのが見られます。衣類は、襟や裾を裏返して、元の色と比較しましょう。

◎汗の成分は繊維や染料に悪影響を与えます

一度でも夏の日に袖を通した衣類には、必ずと言っていいほど汗の成分が付着しています。



汗の成分は、保管中に酸化していきます。主成分の塩分は、湿気を吸収し、生地がべたつきやすくまたカビの原因にもなります。老廃物であるタンパク質や乳酸などは、保管中に臭いや黄ばみになりやすいのです。

不許複製